

クオリティインディケーター(QI)成果報告

〔臨床検査室〕

指標名

手指衛生 5 つ(患者に触れる前・清潔無菌操作前・体液に暴露するリスクの後・患者に触れた後・患者の周囲に触れた後)のタイミング順守率の向上

目標・ゴール

達成率 90%以上

目標・ゴール達成による効果

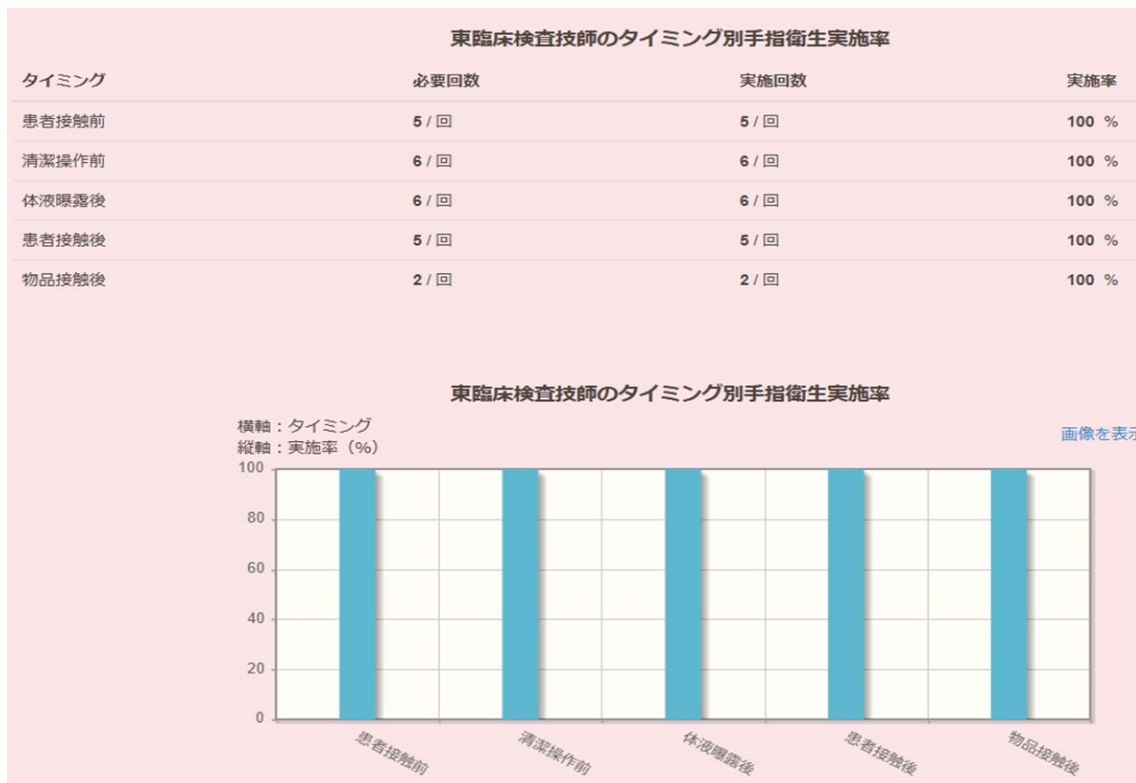
手指衛生 5 つのタイミング遵守測定(直接観察法)において、すべてのタイミングで 100%の実施評価を得た。大学病院・東病院全体、ならびに職種別・部門別においても高い評価を得た。

WHO は、手指衛生の改善により院内感染を 30%減少できると提言している。

今回の結果は感染防止に寄与し、医療の質保証に貢献したと考える。

目標・ゴールに対する成果の状況

[成果] 2025 年度 実施率 100% 第 3 者評価



目標・ゴール達成度

- ☐S :大幅に目標を上回った
- ☒A⁺:目標を多少上回って達成
- ☐A :目標を達成
- ☐B⁺:目標を少し下回った
- ☐B :目標を下回った
- ☐C :目標を大幅に下回った
- ☐- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

患者だけでなく医療従事者をも院内感染から守るため、手指衛生の適切なタイミングでの遵守率を90%以上に維持することが重要である。この取り組みを継続することで、医療の質が向上し、患者に安心・安全な検査を提供できると考える。今後も継続的な啓発および順守状況の確認を行い、90%以上の遵守率維持を目指す。